

# 2021年度事業報告書

自 2021年4月1日  
至 2022年3月31日

一般社団法人 日本造船協力事業者団体連合会

# 目 次

第1. 会 員	1
1. 普通会員	1
(1) 普通会員数の異動	1
(2) 普通会員理事長・会長の交代	1
(3) 普通会員の名称変更	1
2. 賛助会員	1
第2. 役 員	1
1. 役員の異動	1
第3. 会 議	1
1. 内部会議	1
(1) 総 会	2
(2) 理事会	2
(3) 正副会長会議	3
(4) 専門委員会及び部会	3
2. 協力機関	3
(1) 協力機関の名称と所管区域等	3
(2) 支部長(協力機関代表者)会議	3
(3) 支部(協力機関)会議	3
3. 外部会議	4
(1) 海事振興連盟	4
(2) 地域研修センター意見情報交換会	4
(3) 全国造船安全衛生対策推進本部(全船安)	4
(4) 外国人造船就労者受入事業適正監理推進協議会	4
(5) 巡回等業務管理委員会	4
(6) 造船・船用工業分野特定技能協議会	5
(7) 船舶における適正なアスベストの取り扱いに関するマニュアル改訂委員会	5
(8) 呼吸用保護具選択・使用・保守管理基準等検討委員会	5
第4. 組 織	5
第5. 事 業	5
1. 安全の確保(労働災害防止事業)	5
(1) 造船協力事業者の労災防止事業	5
1) 安全講習会	5
2) 安全衛生指導	6
3) 熱中症対策	6
4) 溶接ヒュームに関する新規規制の説明会	6
5) 安全成績優良会員表彰	6
6) 全船安・分担金拠出	6
(2) 造船協力事業者従業員の教育及び訓練【実施事業】	7
1) 日本財団助成事業	7
①「安全管理者に対する危険排除のノウハウ等の伝承」	7

②「労働災害バーチャルリアリティー体験教育」	9
2) その他の実施事業(自主事業)	10
3) 安全衛生資料等の作成・提案(自主事業)	11
(3) 技術安全委員会	12
2. 安心の確保	12
(1) 労災補償共済事業	12
1) 労災補償共済制度の内容	12
2) 加入事業所数及び登録者数	12
3) 共済金の給付	13
4) 共済業務委託費	13
5) 共済掛金の還付	13
(2) 日造協団体災害補償制度(A I G 上乗せ保険)	13
(3) 共済制度運営委員会	13
3. 経営基盤の強化	14
(1) 雇用労務に関する調査指導【実施事業】	
日本財団助成事業	
「潜在的求職者の募集と活用による造船協力事業者の人材確保」	14
(2) 政策研究委員会	15
(3) 広報	15
1) 一般広報	15
2) 機関紙発行	15
(4) 表彰推薦業務	17
1) 褒章	17
2) 国土交通大臣表彰	17
3) 運輸局長・運輸監理部長表彰	17
(5) 調査研究・指導等	18
1) 税制の利用調査・報告	18
2) 雇用調整助成金の活用状況についての調査	18
3) 日本財団造船関係資金貸付事業借入手続き指導	18
(6) 日造協実態調査	18
(7) 外国人材の活用	19
(8) 人材流動化	19
(9) 会員交流会等	19
(10) 業界の情報の提供	19
(11) 人材確保事業関係	19
(12) 日造協設立50周年事業	19
4. 技術・品質の向上	19
(1) 部会活動	19
1) 日造協塗装部会	19
2) 日造協企画部会	19
(2) 購入あっせん事業	20
(3) 地域研修センターによる技能者育成支援事業	21
(4) 指定技能講習	21
(5) 先進国型シップリサイクル	21
5. 安全統計等	21
(1) 死亡災害分類と災害件数の推移(暦年別)	22
(2) 災害度数率・強度率の推移(暦年別)	23

(3) 2021年(令和3年)會員別安全成績 .....	24
(4) 2021年(令和3年)安全成績優良會員表彰 .....	25

#### 附屬明細書

日造協役員名簿 .....	26
日造協會員名簿 .....	27
贊助會員名簿 .....	29
政策研究委員會委員名簿 .....	30
技術安全委員會委員名簿 .....	30
共濟制度運營委員會委員名簿 .....	31
日造協塗裝部會會員名簿 .....	31
日造協企画部會會員名簿 .....	32
日造協機構 .....	33
事務局組織図 .....	34

## 第1. 会 員

### 1. 普通会员

当連合会の2021年4月1日以降における普通会员の異動は以下のとおり。

#### (1) 普通会员数の異動

2022年3月31日付で協同組合神田造船協力会が退会した。

年度初会員数	年度中の異動		現在会員数
	入 会	退 会	
46	0	1	45

#### (2) 普通会员理事長・会長の交代（敬称略）

会 員 名	就 任	退 任	異動日
ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会	古川 誠	濱島 祥二	2021. 5. 1
三菱横製構内事業協力会	森野 宏和	川田 民夫	2021. 5. 20
造船構外企業協議会	橋本 勉	是永 明	2021. 6. 11
トヨシップ事業協同組合	馬場 光雄	川北 謙二	2021. 6. 11
南日本造船協力事業協同組合	増尾 初則	柳井 民治	2021. 11. 19

#### (3) 普通会员の名称変更

新	旧	変更日
MES由良協力会	MES-KHI由良協力会	2021. 4. 1

### 2. 賛助会員

当連合会は昭和47年7月、定款の一部変更により賛助会員の条項を設け、普通会员が所属する元請造船会社及び当連合会の関連団体等を賛助会員とし、今日まで多くの支援をいただいている。本年度も引き続き賛助会員への勧誘を行い、2021年12月22日付で京浜ドック株式会社が入会した。また、新潟造船株式会社、株式会社神田造船所が2022年3月31日付で退会し、賛助会員は24社・6団体、計30会員となった。

## 第2. 役 員

### 1. 役員の異動

(1) 本年度中における役員の異動は以下のとおり。（敬称略）

	就 任	退 任	会 員 名	異動日
理 事	古川 誠	濱島 祥二	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会	2021. 6. 3
〃	森野 宏和	川田 民夫	三菱横製構内事業協力会	2021. 6. 3
〃	増尾 初則	柳井 民治	南日本造船協力事業協同組合	2022. 3. 2
〃	—	本村慎二郎	協同組合神田造船協力会	2022. 3. 31

## 第3. 会 議

### 1. 内部会議

本年度も総会、理事会、正副会長会議、各専門委員会、部会等を開催し、それぞれの所管事項の処理にあたった。なお、新型コロナウイルスの影響により、WEB会議システムを利用する等、従来の開催内容を変更せざるを得ない状況となった。

## (1) 総会

### 1) 定時総会

本年度は、第9回定時総会を2021年6月3日に当連合会事務所で開催し、定款で定める事項を報告、決議した。なお、新型コロナウイルスの影響により、議長である河西会長以外の普通会員はWEB会議システム(Zoom)を利用しての出席となった。

#### 報告事項

- 報告第1号 2020年度事業報告について
- 報告第2号 2020年度公益目的支出計画実施報告について
- 報告第3号 2021年度事業計画及び収支予算について

#### 決議事項

- 議案第1号 2020年度決算承認の件
- 議案第2号 指定代表者の変更に伴う役員(理事)選任の件

また、定時総会終了後、貸借対照表を当連合会ホームページに公告し、報告第1号、第2号、議案第1号について6月18日に内閣府へ報告し、1月13日に審査完了となった。

### 2) 臨時総会

本年度は、臨時総会を第36回理事会に併せて開催した。

- ・第1回臨時総会 2022年3月2日(水) 東京ドームホテル(WEB併用)  
議案第1号 指定代表者の変更に伴う役員(理事)選任の件

## (2) 理事会

本年度の理事会は4回開催し、定款及び理事会運営規則で定める事項を報告、決議した。

- ・第33回理事会 2021年5月12日(水) (理事会の決議の省略・書面)
  - 議案第1号 2020年度事業報告及び決算承認の件
  - 議案第2号 任期満了による相談役・顧問選定の件
  
- ・第34回理事会 2021年9月16日(木) 東京ドームホテル(WEB併用)
  - 報告事項
    - 報告第1号 「海の日」表彰受賞者紹介
    - 報告第2号 2021年度事業進捗状況報告について
  - 決議事項
    - 議案第1号 2022年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件
    - 議案第2号 2022年度日本財団助成金交付申請の件
  
- ・第35回理事会 2021年12月22日(水) (理事会の決議の省略・書面)
  - 議案第1号 賛助会員入会承認の件
  - 議案第2号 2021年度第1回臨時総会開催の件
  
- ・第36回理事会 2022年3月2日(水) 東京ドームホテル(WEB併用)
  - 報告事項
    - 報告第1号 2021年度事業完了報告(見込)及び収支決算(見込)について
    - 報告第2号 2021年度公益目的支出計画実施報告(見込)について
  - 決議事項
    - 議案第1号 2022年度事業計画及び収支予算承認の件
    - 議案第2号 第37回理事会開催の件(決算理事会の決議の省略)

議案第3号 第10回定時総会及び第38回理事会開催の件

議案第4号 任期満了による役員選任並びに代表理事及び業務執行理事等選定の件

(3) 正副会長会議

- ・2021年度 第1回正副会長会議 2021年7月13日(火) 横浜桜木町ワシントンホテル
- ・2021年度 第2回正副会長会議 2022年2月3日(木) 日造協事務所 (WEB会議)

(4) 専門委員会及び部会

当連合会の事業を円滑に推進するため、次の専門委員会及び部会を設置し活動した。

(各委員会及び各部会の活動内容は別途記載)

共済制度運営委員会、技術安全委員会、政策研究委員会、日造協塗装部会、日造協企画部会

2. 協力機関

6支部は外部の協力機関として定款で定められており、本年度も各支部と連携して事業を遂行した。

(1) 協力機関の名称と所管区域等 (敬称略)

名称	所在地	所管区域	支部長
日造協東日本支部	神奈川県横浜市	北海道、東北、関東の地域	古川 誠
日造協中部支部	三重県津市	中部運輸局管内 (一部北陸信越運輸局富山運輸支局管内を含む)	小久保和文
日造協近畿支部	兵庫県神戸市	近畿運輸局、神戸運輸監理部管内	岡田 正昭
日造協中国支部	広島県広島市	中国地方 (広島県、山口県、島根県、岡山県、鳥取県)	平賀 哲朗
日造協四国支部	香川県坂出市	四国運輸局管内	神原 満
日造協九州支部	長崎県長崎市	九州地方	山外 正人

※東日本支部長が10月25日付で交代した。

(2) 支部長(協力機関代表者)会議

2021年11月17日(水) 第一ホテル東京

(3) 支部(協力機関)会議

- ・日造協東日本支部  
支部会議 2021年10月25日(月) 横浜ロイヤルパークホテル
- ・日造協中部支部  
定期総会 2021年7月9日(金) 書面
- ・日造協近畿支部  
連絡協議会 2021年10月20日(水) 書面
- ・日造協中国支部  
通常総会 2021年7月8日(木) 書面
- ・日造協四国支部  
支部会 2021年11月17日(水) 書面
- ・日造協九州支部  
総会 2021年11月26日(金) ホテルニューオータニ佐賀

### 3. 外部会議

#### (1) 海事振興連盟

##### ・臨時会合

2021年5月11日(火) コロナ禍での海事産業界の現状 衆議院第一議員会館

2022年1月21日(金) 「海の日」を7月20日に固定化する件 衆議院第一議員会館

※当会からの出席者

野口 雅史 専務理事

##### ・総会 2021年11月16日(火) 東京・海運ビル

※当会からの出席者

河西 良二 会長

野口 雅史 専務理事

#### (2) 地域研修センター意見情報交換会

2021年12月15日(水) WEB会議

※当会からの出席者

金子 昌久 氏 相生技能研修センター 事務局長

(協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会 事務局長)

野口 雅史 専務理事

#### (3) 全国造船安全衛生対策推進本部 (全船安)

※副本部長に野口専務理事、本部監査員に小島統括本部長が就任している。

- ・2021年度第1回総支部連絡会 2021年5月20～25日 書面開催
- ・2021年度第1回本部幹事会 2021年5月20～25日 書面開催
- ・2021年度通常総会 2021年5月31日～6月4日 書面開催
- ・2021年度第2回本部幹事会 2022年2月21日 造船工業会 会議室
- ・2021年度臨時総会・総支部連絡会 2022年3月4日 神戸ファッションマート

##### 2021年度死亡災害発生状況 (全船安調べ)

発生日	造船所(県名)	原因分類	従/協の別	年齢	勤続
2021. 4. 27(火)	㈱新来島どつく 大西工場(愛媛)	墜落・転落	協力従業員	40	1年9ヵ月
2022. 1. 11(火)	㈱新来島豊橋造船(愛知)	崩壊・倒壊	従業員	58	39年
2022. 1. 24(月)	矢野造船㈱(愛媛)	爆発・火災	協力従業員	38	5年8ヵ月
2022. 2. 21(月)	内海造船㈱ 因島工場(広島)	激突され	従業員	44	1ヵ月

#### (4) 外国人造船就労者受入事業適正監理推進協議会 (設置 国土交通省)

※当連合会からの委員は以下のとおり。

重入 義治 常務理事

(特定監理団体として)

トヨシップ事業協同組合、SSK協力事業協同組合、南日本造船協力事業協同組合、協同組合広島マリンワールド(JMU呉協力会関係)、三浦造船協力事業協同組合、協同組合寿協力会が認定されている。

#### (5) 巡回等業務管理委員会 (一財)日本海事協会 (国土交通省請負事業)

2021年6月2日(水)、2022年3月1日(火) 書面開催

※当連合会からの委員は以下のとおり。

重入 義治 常務理事



(6) 造船・船用工業分野特定技能協議会（設置 国土交通省）

※当連合会からの委員は以下のとおり。

重入 義治 常務理事

(7) 船舶における適正なアスベストの取り扱いに関するマニュアル改訂委員会

((一財)日本船舶技術研究協会(国土交通省請負事業))

2021年5月31日(月) 第3回委員会 WEB会議

2021年9月29日(水) 第4回委員会 WEB会議

2022年1月31日(月) 第5回委員会 WEB会議

2022年3月29日(火) 第6回委員会 WEB会議

※当連合会からの委員は以下のとおり。

坂元 隆文 氏 船舶解撤企業協議会 理事(㈱TES代表取締役)

野口 雅史 専務理事(オブザーバー)

(8) 呼吸用保護具選択・使用・保守管理基準等検討委員会

((公社)日本保安用品協会(厚生労働省協力要請事業))

2021年11月29日(月) 第1回委員会 (公社)日本保安用品協会 会議室・WEB併用

2022年2月7日(月) 第2回委員会 (公社)日本保安用品協会 会議室・WEB併用

※当連合会からの委員は以下のとおり。

小島 信樹 統括本部長

#### 第4. 組 織

事務局組織は引き続き、総務部(総務課、経理課)、業務部、事業部の3部で業務を遂行した。

#### 第5. 事 業

本年度も日造協運営方針に基づき、新規会員の入会推進を行うとともに、「安全の確保」、「安心の確保」、「経営基盤の強化」及び「技術・品質の向上」の4つの柱を中心に事業を進めた。

なお、本年度も新型コロナウイルスの影響により、計画していた事業が実施先の受入れが難しく予定通り実施できない状況となった。

##### 1. 安全の確保（労働災害防止事業）

###### (1) 造船協力事業者の労災防止事業

会員のニーズに合わせ以下の講習会等を開催した。

###### 1) 安全講習会

会員の所属事業場における安全対策として安全管理の向上、作業者の安全意識の高揚・普及及び安全に関する知識の向上を図るため、安全衛生責任者、現場責任者を対象に講習会を開催した。

開催場所	実施日	受講者
神戸(川重事業協同組合)	2021.7.8(木)	29名
神戸(川重事業協同組合)	2022.1.11(火)	32名
計 2ヶ所		61名

## 2) 安全衛生指導

協力工を対象に、それぞれの作業現場で取り扱う材料、工具、有害物質等の知識、取扱方法等を中心に安全衛生の実践的知識の習得・向上を図るべく、講師を元請等に依頼して各現地に実践的指導を実施した。

開催場所	実施日	受講者
長崎（協同組合三菱長船協会）	2021. 7. 30(金)	59名
長崎（協同組合三菱長船協会）	2021. 9. 29(水)	57名
神戸（川重事業協同組合）	2021. 10. 12(火)	17名
神戸（川重事業協同組合）	2021. 11. 5(金)	35名
神戸（川重事業協同組合）	2022. 3. 17(木)	8名
計 5ヶ所		176名

## 3) 熱中症対策

### ①熱中症対策用品配布

夏季の注意喚起と熱中症対策として、「熱中症予防タブレット」と経口補水液(予防用)を配布した。

- ・熱中症予防タブレット（174,840個）
- ・経口補水液 ※予防用（アクアソリタ2,208本）

### ②熱中症注意喚起ポスター配布

熱中症注意喚起として、専門家監修のもとポスターを1,000部制作し、5月に普通会员、賛助会員向けに広く配布した。

### ③熱中症対策講習

熱中症予防管理者教育を東京農業大学大学院 齊藤雄司 博士に依頼し「熱中症予防講習(管理者編)」を実施した。

開催場所	実施日	受講者
ジャパンマリンユナイテッド(株) 横浜事業所(横浜)	2021. 6. 16(水)	28名
(株)新来島豊橋造船(豊橋)	2021. 6. 28(月)	38名
計 2ヶ所		66名

## 4) 溶接ヒュームに関する新規規制の説明会

2020年4月22日に特定化学物質障害予防規則を改正する省令が交付されたため、これに対応するための会員向け説明会を開催した。

2021年8月27日(金)

実施場所：ナビオス横浜

講師：菅 晃 氏（ジャパンマリンユナイテッド(株) 企画管理本部 参与）

## 5) 安全成績優良会員表彰

当連合会は昭和46年の設立時から毎年、会員の安全意識の高揚・啓蒙を図るため安全表彰を実施している。第9回定時総会がWEB会議システムを利用した開催となったため、本年度も表彰式は行わなかったが、「2020年安全成績優良会員表彰」として一般表彰37会員、特別表彰16会員を表彰し、各受賞会員に表彰状を送付した。

## 6) 全船安・分担金拠出

全船安の活動に必要な経費は、日本造船工業会、日本中小型造船工業会、当連合会の3団体の分担金で賄っており、本年度も応分額を拠出した。

(2) 造船協力事業者従業員の教育及び訓練【実施事業】

普通会員、会員以外に対し、時勢に合った集合教育の実施や安全衛生資料の作成、提案を行った。

1) 日本財団助成事業

公益財団法人日本財団からの助成を受け、普通会員のみならず造船関連事業者等を対象に広く事業を展開した。

- ①「安全管理者に対する危険排除のノウハウ等の伝承」(通称:安全衛生アドバイザー相談会)  
(\*本事業は平成26年4月1日より、国土交通省の後援事業となっている。)

○アドバイザー相談会

実施企業の組織形態等に合わせ、当連合会の安全衛生アドバイザーがオリジナルの安全衛生教育として現場の作業環境や状況などを詳しく調査した上で、現場安全管理者に対して安全な職場環境を実現するためのアドバイスや危険排除のノウハウ等の伝承を行った。

なお、本年度は企業の安全衛生レベルを上げるため、新たな取り組みとして、コンサルティング的に特定の企業に継続して実施する方法を試行した。

開催場所	実施日	担当アドバイザー
神奈川県横浜市 (株横浜工作所)	2021.5.14(金)	橋本 顕 氏
神奈川県横浜市 (株横浜工作所)	2021.6.4(金)	橋本 顕 氏
神奈川県横浜市 (株横浜工作所)	2021.7.7(水)	橋本 顕 氏
神奈川県横浜市 (株横浜工作所)	2021.8.6(金)	橋本 顕 氏
神奈川県横浜市 (株横浜工作所)	2021.9.3(金)	橋本 顕 氏
神奈川県横浜市 (株横浜工作所)	2021.10.19(火)	橋本 顕 氏
神奈川県横須賀市 (京浜ドック(株) 追浜工場)	2021.12.7(火)	橋本 顕 氏
神奈川県横浜市 (株横浜工作所)	2022.1.14(金)	橋本 顕 氏
神奈川県横浜市 (京浜ドック(株) 子安工場)	2022.1.27(木)	橋本 顕 氏
山口県下関市 (旭洋造船(株))	2022.2.9(水)	花園 春雄 氏
神奈川県横浜市 (株横浜工作所)	2022.3.7(月)	橋本 顕 氏
計 11ヶ所		

○徒弟制度

将来の安全衛生のプロを育成するプログラムを構築し、全国の安全担当者を対象として受講者を募り研修を行っており、講師を担当する各アドバイザーは、それぞれの豊富な経験を生かして現場の危険を排除するためのノウハウ等を受講者に伝承した。

受講者は、本年度、新たに2名を加え合計38名(普通会員13名、賛助会員25名)となっている。なお、2021年12月に新たに1名の認定アドバイザーが誕生し、現在までに認定アドバイザー8名、準アドバイザー2名を輩出している。

・参加企業 【受講生数】

区分	会員所属企業	賛助会員	参加数
1期生(21年度)	大和鉄工(2)、 山陽鉄工		3名
2期生(22年度)		三菱重工(長崎)、JMU(横浜)	2名
3期生(23年度)	寿工業(2)	JMU(横浜)、SSK	4名
4期生(24年度)		佐伯重工業、三井造船	2名
5期生(25年度)	是永鉄工所(2)	新来島豊橋造船	3名
6期生(26年度)		みらい造船、JMU(横浜)、 南日本造船、東北ドック鉄工 三菱重工(横浜)、 住友重機械マリンエンジニアリング	6名
7期生(27年度)	函東工業	川崎重工業(神戸)、JMU(舞鶴)	3名
8期生(28年度)		福岡造船(長崎)、JMU(横浜)、 旭洋造船	3名
9期生(29年度)		新来島豊橋造船、名村造船所	2名
10期生(30年度)	呉新工業		1名
11期生(2019年度)	ナカタ・マックコーポレーション (2)	住友重機械マリンエンジニアリング 神田造船所 函館どつく(函館)、佐世保重工業	6名
12期生(2020年度)		JMU(津)	1名
13期生(2021年度)	横浜工作所(2)		2名
計	13名	25名	38名

・座学研修eラーニング

配信場所：ナビオス横浜

内容：遠隔地にいる徒弟制度受講者に対する座学研修講義映像の配信

座学	講師	実施日	受講者
概論1	花園 春雄 氏	2021. 7. 12(月)	4名
各論1	伊藤 和幸 氏	2021. 7. 12(月)	9名
概論2	橋本 颯 氏	2021. 7. 30(金)	4名
各論3	岩崎喜久雄 氏	2021. 8. 31(火)	5名
計 4回			22名

・徒弟制度 仕上演習

2021年12月22日(水) 実施場所：住友重機械マリンエンジニアリング(株) 横須賀造船所

2021年12月23日(木) 実施場所：ナビオス横浜

内 容：アドバイザー認定試験受験資格見極め

対 象 者：次元 剛 氏(佐世保重工業(株)所属)

・アドバイザー認定試験

2021年12月23日(木) 実施場所：ナビオス横浜

受 験 者：次元 剛 氏(佐世保重工業(株)所属)

○会議等

・アドバイザーミーティング

2021年12月24日(金) 実施場所：ナビオス横浜

内 容：2021年度事業進捗状況報告、2022年度事業計画等

2022年3月16日(水) 実施場所：ナビオス横浜

内 容：2021年度事業完了報告(見込み)、2022年度事業計画等

・徒弟制度受講者相互勉強会

2021年12月24日(金) 実施場所：ナビオス横浜

内 容：徒弟制度受講者向け講習等

2022年3月16日(水) 実施場所：ナビオス横浜

内 容：徒弟制度受講者向け講習等

②「労働災害バーチャルリアリティー体験教育」

開催場所	実施日	受講者
住友重機械造船協同組合	2021. 6. 22(火)	39名
トヨシップ事業協同組合	2021. 6. 29(火)	79名
東北ドック鉄工事業協同組合	2021. 7. 2(金)	36名
函館どつく安全衛生協力会	2021. 7. 16(金)	38名
白杵造船事業協同組合	2021. 11. 5(金)	66名
旭洋造船株式会社協力会	2021. 11. 12(金)	30名
ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会(磯子)	2021. 11. 24(水)	37名
ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会(鶴見)	2021. 11. 25(木)	38名
三菱横製構内事業協力会	2021. 12. 3(金)	17名
長崎県金属工業協同組合	2021. 12. 16(木)	36名
小名浜造船(株)	2022. 1. 11(火)	19名
京浜ドック(株) 追浜工場	2022. 2. 22(火)	24名
京浜ドック(株) 本社/子安工場	2022. 3. 9(水)	22名
計 13ヶ所		481名

造船現場で過去に発生した労働災害をバーチャルリアリティー(VR)で再現して労働災害を疑似体験することで危険回避の感度をあげる教育を実施した。

本年度からVRコンテンツに造船業オリジナルバージョン(造船現場での垂直梯子からの墜落転落、造船現場での吊り荷に挟まれ巻き込まれ災害)を追加して実施し、教育効果の向上に努めた。

(\*本事業は2020年4月より国土交通省及び厚生労働省の後援事業となっている。)

○教育内容

・「VR体感」コーナー

ア. 造船災害体験VR体感 …… 垂直梯子からの墜落転落

イ. 造船災害体験VR体感 …… 吊り荷に挟まれ巻き込まれ

ウ. 建設災害体験VR体感 …… 足場作業での墜落転落

・保護具の有効性実験・体感

- ア. (1) 防じんマスクの内圧と漏れ率をリアルタイムで確認  
(2) 電動ファン付き呼吸用保護具の効果を体感  
(株)重松製作所
- イ. (1) 保護眼鏡の耐衝撃性の実験  
(2) 水蒸気を使った防曇性能の実験と脱着時の危険性について  
(3) 振り向きによる眼の災害実験  
(4) 防音保護具の正しい装着方法と性能体感  
(株)重松製作所
- ウ. (1) ヘルメットの重要性、メンテナンスの必要性を説明  
(2) フルハーネス型墜落制止用器具の利点を説明  
(3) 墜落制止用器具のフックの正しい掛け方  
(株)谷沢製作所 (サンコー(株))
- エ. (1) 耐切創手袋の耐切創性能を実験  
(2) 防振手袋の振動吸収性能を説明 (アトム(株))
- オ. マスクの点検と使用方法等の解説 (株)重松製作所 (興研(株))
- カ. 安全帯の点検と使用方法の解説 (株)谷沢製作所 (サンコー(株))
- キ. 熱中症予防指導 (興研(株))

○インストラクターミーティング

2021年4月9日(金)、5月12日(水)、6月14日(月)、2022年3月16日(水)

実施場所：ナビオス横浜

議題：2021年度実施内容の検討、講習内容デモンストレーション等

2021年度事業実施報告、次年度に向けた実施内容の検討等

○造船業VR制作

・造船業VRソフト制作

教育内容の充実を図るため、造船現場をVR映像化し造船業に特化した日造協オリジナルVRコンテンツを制作した。

2020年度に制作した2種類に続き、「崩壊・倒壊」を題材としたVRコンテンツを制作した。

・造船業VR制作推進ワーキンググループ

第1回 2021年6月14日(月)、第2回 8月26日(木)、第3回 9月14日(火)、

第4回 2021年12月10日(金)、第5回 2022年2月2日(水)

実施場所：ナビオス横浜

議題：造船業オリジナルVRコンテンツ制作について、コンテンツ制作内容の検討等

2) その他の実施事業（自主事業）

現場で必要とされている安全衛生関連の特別教育等を会員や造船各社の協力を得て、一般に公開・公募し、低料金で提供した。

①資格取得型教育

開催場所	実施教育名	実施日	受講者
広島県広島市 (三菱重工業(株) 観音工場)	低圧電気取扱作業に係る 特別教育	2021. 4. 5(月)	47名
広島県広島市 (三菱重工業(株) 観音工場)	低圧電気取扱作業に係る 特別教育	2021. 4. 6(火)	49名
長崎県長崎市 (株)カタ・マックコーポレーション	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2021. 4. 12(月)	32名
長崎県長崎市 (株)カタ・マックコーポレーション	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2021. 4. 13(火)	31名
北海道函館市 (函館どつく(株) 函館造船所)	職長・安全衛生責任者教育	2021. 5. 26(水)、27(木)	37名
神奈川県横浜市 (横浜工作所(株))	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2021. 6. 18(金)	18名
神奈川県横浜市 (JMU(株) 横浜事業所 磯子工場)	職長・安全衛生責任者 能力向上教育	2021. 6. 21(月)	28名
神奈川県横浜市 (JMU(株) 横浜事業所 磯子工場)	職長・安全衛生責任者 能力向上教育	2021. 6. 24(木)	24名
長崎県長崎市 (株)カタ・マックコーポレーション	低圧電気取扱作業に係る 特別教育	2021. 7. 2(金)	20名
長崎県長崎市 (福岡造船(株) 長崎工場)	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2021. 7. 20(火)	35名
長崎県長崎市 (福岡造船(株) 長崎工場)	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2021. 7. 21(水)	35名
大分県臼杵市 (下ノ江造船(株))	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2021. 11. 6(土)	45名
神奈川県横須賀市 (住友重機械造船マリンエンジニアリング(株))	低圧電気取扱作業に係る 特別教育	2021. 11. 9(火)	11名
山口県下関市 (旭洋造船(株))	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2021. 11. 11(木)	33名
神奈川県三浦市 (新潟造船(株) 三崎工場)	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2021. 11. 15(月)	33名
神奈川県横浜市 (三菱重工業(株) 横浜製作所)	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2021. 11. 26(金)	41名
神奈川県横浜市 (三菱重工業(株) 横浜製作所)	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2021. 12. 9(木)	40名
長崎県諫早市 (諫早貝津工業団地)	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2021. 12. 15(水)	31名
宮城県気仙沼市 (気仙沼魚市場)	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2021. 12. 20(月)	64名
山口県下関市 (旭洋造船(株))	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2022. 2. 8(火)	30名
北海道函館市 (函館どつく(株) 室蘭製作所)	フルハーネス型安全帯 使用作業特別教育	2022. 3. 28(月)	23名
北海道厚岸群厚岸町 (運上船舶工業(株))	足場の組立て等特別教育	2022. 3. 30(水)	22名
計 22ヶ所			729名

3) 安全衛生資料等の作成・提案（自主事業）

① ホームページによる安全衛生に関するコンテンツ掲載

前年度に引き続き、作成した安全衛生に関する資料等をホームページを利用し、会員以外にも利用してもらえよう掲載した。

② 安全衛生啓発ポスター等を制作し会員、会員外に広く配布した。（以下、制作内容）

- ・2022年安全カレンダー
- ・災害多発事例ポスター(第15作)

### (3) 技術安全委員会

労働災害の動向、防止対策について討議した。

2021年度第1回 2021年11月17日(水) ナビオス横浜 (WEB併用)

- 主な議題
1. 2021年度の活動報告について
  2. 再発防止のための「災害多発事例ポスター」の内容検討について
  3. 2022年度の事業計画について
  4. 全国造船安全衛生対策推進本部(全船安)活動について
  5. 日本中小型造船工業会の安全の取り組み等について
  6. 各地の災害発生状況と災害防止の取り組み等について

2021年度第2回 2022年3月2日(水) ナビオス横浜 (WEB併用)

- 主な議題
1. 2021年度の活動報告(完了報告見込等)について
  2. 再発防止のための「災害多発事例ポスター」作成報告について
  3. 2022年度の事業計画について
  4. 全国造船安全衛生対策推進本部(全船安)活動について
  5. 日本中小型造船工業会の安全の取り組み等について
  6. 各地の災害発生状況と災害防止の取り組み等について

## 2. 安心の確保

### (1) 労災補償共済事業

#### 1) 労災補償共済制度の内容

本制度は、普通会员所属企業の従業員等の業務災害並びに通勤災害により被災した従業員等に対する所属企業の補償を支援し、経営の安定に資することを目的としている。

- ① 給付対象：労災保険法第7条による業務災害並びに通勤災害による死亡又は障害(障害等級7級以上)に対して給付される。
- ② 登録口別及び月額掛金：

登録口別	3000万円口	2000万円口	1500万円口	1000万円口	500万円口
月額掛金	1,800円	1,200円	900円	600円	300円

#### 2) 加入事業所数及び登録者数

2021年4月の加入事業所数及び登録者数は、632事業所15,674名であり、2022年3月現在、618事業所、14,433名(1,241名減)となった。

(前年3月 641事業所、16,075名)

	加入事業所数	登録者数
4月	632	15,674
5月	631	15,479
6月	629	15,373
7月	627	15,214
8月	624	15,040
9月	626	14,970
10月	625	14,868
11月	624	14,755
12月	622	14,693
1月	622	14,469



2月	620	14,494
3月	618	14,433
(平均実績)	625	14,955)

### 3) 共済金の給付

本年度の共済金の給付は以下のとおり。

災害発生年月日	会 員 名	給付金額	災害分類	死亡・障害	支払月	計上月
2020.12.26	造船構外企業協議会	150万円	通勤災害	障害1級	—	2022.3
2021.8.5	船舶解撤企業協議会	1,600万円	挟まれ・巻込まれ	障害4級	—	2022.3
2021.8.9	三井E&S玉野協力会	1,500万円	転落	死亡	2021.11	2021.11
合 計 (3件)		3,250万円				

(予算額) (5件 8,500万円)

※上記以外に、障害等級7級以上で共済金給付が見込まれる業務災害3件の報告を受けている。(共済金の給付額の概算額は7,000万円)

### 4) 共済業務委託費

会員事務局への委託事務の増加等に伴い、2019年度から一時的措置として3年間、前年度の受取共済掛金総額の20%から22%相当額に増率し、それを予算総額として計上した。なお、増率について第36回理事会において審議され、2022年度から2年間の期間延長が承認された。

共済業務委託費の支払いは、前期(9月)・後期(2月)の2回に分けて基本額各5万円等と会員別掛金納入合計額(各6ヵ月分)を基に算出した委託費案分額とを会員指定口座に送金した。

(予算額：前・後期合計4,925万円)

### 5) 共済掛金の還付

年度末決算見込みにより、2021年度共済掛金還付総額を算出し、第36回理事会において共済掛金還付総額の承認を得て3月に会員指定口座に送金した。

各共済加入企業への配分は従前と同様、共済掛金還付総額を2021年3月から2022年2月まで(12ヵ月分)の会員共済加入企業別の共済掛金納入合計額を基に比例配分とした。

### (2) 日造協団体災害補償制度 (AIG上乘せ保険)

新型コロナウイルスの影響により、当制度の説明会ができない状況となったが、3月末現在の加入社数は101社となり、団体加入メリットとして保険料20%割引が適用されている。(100社以上20%割引、100社未満15%割引)

### (3) 共済制度運営委員会

2021年度第1回 2021年11月11日(木) WEB開催

- 主な議題
1. 2021年度事業進捗状況報告について
  2. 共済業務委託費について

2021年度第2回 2022年1月19日(水) WEB開催

- 主な議題
1. 2021年度事業進捗状況報告について
  2. 日造協団体災害補償制度に係る会員事務局の労災補償について

2021年度第3回 2022年3月2日(水) 東京ドームホテル(WEB併用)

- 主な議題
1. 2021年度事業報告(見込)について
  2. 共済掛金の還付について
  3. 2022年度事業計画(案)について

### 3. 経営基盤の強化

#### (1) 雇用労務に関する調査指導【実施事業】

##### 1) 日本財団助成事業

「潜在的求職者の募集と活用による造船協力事業者の人材確保」

本年度も昨年に引続き、新型コロナウイルスの影響で連携する各地域行政等が予定していた移住相談会等の各種イベントが中止となり、実開催のイベントを利用してのマッチングができない状況となった。また、リクルート用に(リファラル採用の導入)企業のリーフレット等を作成するための取材を19社で実施した。

なお、本事業を開始した2019年度からの当会会員所属企業へのマッチングは173件、就職は39件となった。

##### ①潜在的求職者と造船関連事業者のマッチング

○協力地域行政：広島県、尾道市、呉市、玉野市、臼杵市、佐伯市、玉名市、佐世保市

○地域行政と連携（IUターンフェア等参加）

連携する地域行政等が当初予定していた行事について、その多くが実開催を中止しWEBでの開催に切り替えたため、市などの地域行政に向けて地域会員の求人情報(ハローワーク)を定期的に情報提供し、ポータルサイトへ掲載している情報等と併せて、求職者の相談時に活用いただいた。

7月17日(土) 尾道市主催 WEB開催

9月20日(月) 広島県主催 (中止)

10月17日(日) ふるさと回帰支援センター主催 東京国際フォーラム

12月18日(土) 広島県主催 WEB開催

1月29日(土) 臼杵市主催 WEB開催

3月12日(土) 尾道市主催 WEB開催

○冊子「造船しごと紹介本」の作成・配布

本年度は、3年継続して作成した業界で活躍する女性を紹介した冊子「Life&Work」から内容を変更し、造船に関連する協力事業者の仕事を広く紹介する「造船しごと紹介本」を作成した。

これまで、造船所の建造過程での仕事の概要を紹介するものはあったが、当会の所属企業の個々の職種については、十分に説明されるものは無く、求職者や学校関係者、職安や行政関係者などから「造船関係の具体的な仕事はわからない」との問合せが多かった。よって、会員企業のリクルート機会を支援するため、造船関係の主な職種を簡潔にイラストなどを使って分かり易くまとめた冊子を作成し、会員をはじめ学校や行政等に配布した。

なお、コロナ禍により取材等が遅れていたため、高校生の求職活動に合わせ7月に同冊子のプレリリース版(3,800部)を作成・配布した。また、1月末には完成版(4,000部)を会員、地方運輸局、学校等に配布した。

○ポータルサイト「RECRUIT JOURNAL」の更新(造船しごと紹介本との連携)

会員企業の紹介や造船しごと紹介本との連携のため、随時更新した。

②リファラル採用による潜在的求職者の採用募集、定着率向上支援

積極的な採用募集や定着率向上のため、リファラル採用(社員紹介制度)を導入する企業にリクルート用ホームページやリーフレット作成の支援をした。

新型コロナウイルスの影響により、昨年度実施できなかった実施希望企業と本年度希望のあった企業の19社に取材を行いリーフレット等を作成した。

(2) 政策研究委員会

第1回 2022年2月17日(木) WEB開催

1. 2021年度人材確保事業関係の進捗状況について
2. 2022年度人材確保事業について
3. その他

なお、上半期の事業進捗及び次年度事業については、コロナ禍の状況により委員会の開催が出来ない状況であったため、メールにて報告・意見交換を行った。

(3) 広 報

1) 一般広報

本年度も前年度に引き続き業界各誌との合同記者会見を2021年11月19日に実施し、河西会長が造船協力事業者の現状及び日造協の課題や運営方針を発表した。

また、「新年」及び「海の日」発刊の業界各誌に当連合会の広告を掲載した。

2) 機関紙発行

機関紙「日造協」(昭和52年9月16日第三種郵便物認可)は、当連合会の広報活動の中心として毎月5日に4,800部発行し、会員はもとより関係省庁、造船元請事業所、関係団体、海事関係者、報道機関等へ配布した。当連合会の活動内容、関係省庁の行政記事、日本財団事業紹介、その他各種情報を掲載する。経営者向けのコラムや安全衛生読本のマンガ版を掲載するなど親しみやすい紙面づくりに努めた。(7月号と1月号はカラーで発行)

本年度は、これまで560号から571号まで発行した。各号の主な記事は次のとおりである。

○560号(4月)

- ・今は我慢の時、造船技能者集団としての役割を果たすことが重要(第32回理事会開催)
- ・2020年度第1回共済制度運営委員会開催
- ・2020年度第2回技術安全委員会開催
- ・職長は「職場の要」、現場では労働者の指揮者である(職長・安全衛生責任者教育)
- ・アドリブ講習では、金属アーク溶接等作業時の特化則規程を解説  
(安全衛生アドバイザー相談会)
- ・低圧電気における電気災害・労働災害を防ぐ(低圧電気取扱業務に係る特別教育)

○561号(5月)

- ・感電災害は基本的な知識教育で撲滅できる(低圧電気取扱業務に係る特別教育)
- ・新人造船マンが各地の研修センターで研鑽(造船技能研修センターの新人研修開講)
- ・2020年度事業の監事監査が終了
- ・2021年度はVRの新コンテンツを追加して実施
- ・お互いで確認し合うことの大切さなど装着時のポイントを指導  
(フルハーネス型安全帯使用作業特別教育)
- ・祝春の褒章 前田和彦前会長(現相談役)が藍綬褒章を受章

○562号(6月)

- ・継続的な取り組みで、安全衛生をスキルアップ(安全衛生アドバイザー相談会)

- ・新たなVR教育の実施に向け最終調整  
（「労働災害バーチャルリアリティー体験教育」インストラクターミーティング）
  - ・コロナ禍での海事産業界の現状を聴取、菅義偉首相に要請（海事振興連盟）
  - ・熱中症注意喚起ポスターを制作・配布
- 563号(7月)
- ・海の日に寄せて 河西会長
  - ・第9回定時総会開催 コロナウイルス感染症の影響によりリモートで開催
  - ・新たな造船業に特化した日造協オリジナルVR制作に着手  
（「労働災害バーチャルリアリティー体験教育」インストラクターミーティング他）
  - ・事業場の安全衛生水準の向上を図る（職長・安全衛生責任者教育）
- 564号(8月)
- ・設立50周年のご挨拶
  - ・具体的な熱中症のメカニズムと対処法について講義（熱中症予防管理者講習）
  - ・法改正による旧規格安全帯の使用可能期限迫る（フルハーネス型安全帯使用作業特別教育）
  - ・第一線の要である職長に現場の実態に即した教育を（職長・安全衛生責任者能力向上教育）
  - ・2021年度の造船業に特化したVR体験教育始動  
（労働災害バーチャルリアリティー体験教育）
- 565号(9月)
- ・祝2021年海の日表彰（大臣表彰1名、運輸局長等表彰10名）
  - ・2021年度正副会長会議開催（金刀比羅宮で安全祈願も実施）
  - ・安全のプロ養成講座「座学研修」eラーニング運用開始  
（安全管理者に対する危険排除のノウハウ等の伝承）
  - ・2021年度の造船業に特化したプログラムで実施  
（労働災害バーチャルリアリティー体験教育）
  - ・フルハーネス型と胴ベルト型安全帯の適正な選定方法を学ぶ  
（フルハーネス型安全帯使用作業特別教育）
  - ・安全管理組織図作成など役割の明確化を図る（安全衛生アドバイザー相談会）
- 566号(10月)
- ・第34回理事会 リモート併用で開催
  - ・溶接ヒュームの濃度測定や特殊健康診断の義務付けへの対応を解説  
（溶接ヒュームに関する新規規制説明会）
  - ・安全のプロ養成講座（徒弟制度）座学研修をeラーニングで推進  
（安全管理者に対する危険排除のノウハウ等の伝承）
  - ・法に適合し、作業性にも良い環境づくりを目指して（安全衛生アドバイザー相談会）
- 567号(11月)
- ・造船現場の労働災害をVRで再現「日造協オリジナルVR」制作進行中  
（造船業VR制作推進ワーキンググループ）
  - ・これまでの活動報告と目指すべき未来像について説明（安全衛生アドバイザー相談会）
- 568号(12月)
- ・いかなる時も安定した技能レベルと労働力を維持（河西会長記者会見）
  - ・新造船受注増加も、安定操業へはあと一步（2021年度支部長会議）
  - ・2021年度VR体験教育は室内のみでの実施が可能に  
（労働災害バーチャルリアリティー体験教育）
  - ・体験談や災害事例を通じて低圧電気の恐ろしさを学ぶ  
（低圧電気取扱業務に係る特別教育）

- ・新規格フルハーネス型安全帯の使用に必要な特別教育を実施  
(フルハーネス型安全帯使用作業特別教育)
- ・2021年度第1回共済制度運営委員会開催
- ・2021年度第1回技術安全委員会開催
- ・令和3年度海事振興連盟通常総会開催 河西会長が要望

○569号(1月)

- ・新年を迎えて(河西会長)
- ・年頭所感(国土交通省海事局長 高橋一郎氏)
- ・新年を迎えて((一社)日本造船工業会会長 宮永俊一氏)
- ・新年のご挨拶((一社)日本中小型造船工業会会長 越智勝彦氏)
- ・新年のメッセージ(日造協各副会長、事務局一同)
- ・2年ぶりの開催 会員間で有意義な情報交換(東日本支部会議、九州支部総会)
- ・鶴見・磯子で開催(労働災害バーチャルリアリティー体験教育)

○570号(2月)

- ・8人目の認定アドバイザー誕生(安全のプロ養成講座「仕上演習」「アドバイザー認定試験」)
- ・労働災害の恐ろしさをVRで体験(労働災害バーチャルリアリティー体験教育)
- ・コロナ禍における新たな取組みを協議  
(アドバイザーミーティング、徒弟制度受講者相互勉強会)
- ・横浜、諫早、気仙沼で開催(フルハーネス型安全帯使用作業特別教育)
- ・船舶解撤・改修工事における事前調査手続き等を解説  
(鋼船における石綿障害予防規則への対応説明会)
- ・故三上和男氏(元当会会長)天皇陛下から位階(従五位)を賜る

○571号(3月)

- ・2021年度第2回正副会長会議開催
- ・新作VRコンテンツ「崩壊・倒壊災害」完成間近  
(労働災害バーチャルリアリティー体験教育「造船業VR制作推進WG」)
- ・ハラスメントのない明るい職場を目指して(安全講習会)
- ・ライブ配信システムによる新たな取り組み始動(安全衛生アドバイザー相談会)
- ・労働安全衛生法により定められている特別教育を実施  
(フルハーネス型安全帯使用作業特別教育)

(4) 表彰推薦業務

会員及び会員所属企業の適格者を関係官庁へ推薦した。(敬称略・会員名簿順)  
なお、故三上和男元会長に叙位(従五位)が授与された。

1) 褒章(春の褒章)

前田和彦 藍綬褒章 三井E&S玉野協力会

2) 国土交通大臣表彰(2021年「海の日」)

下松一也 海事功労 臼杵造船事業協同組合

3) 運輸局長・運輸監理部長表彰(2021年「海の日」)

関東運輸局長表彰

古川善紀 永年勤続 ジャパンマリコナイット 横浜協力会

遠藤英二 永年勤続 ジャパンマリコナイット 横浜協力会

神戸運輸監理部長表彰

岡田正昭 海事功労 川重事業協同組合

中国運輸局長表彰

橋 浩 司	永 年 勤 続	三井E & S玉野協力会
平 岡 智 志	永 年 勤 続	三井E & S玉野協力会
藤 原 信 弘	永 年 勤 続	三井E & S玉野協力会
旭 俊次郎	永 年 勤 続	サノヤス水島事業協同組合
小見山 峰 雄	永 年 勤 続	サノヤス水島事業協同組合

九州運輸局長表彰

田 崎 正 志	海 事 功 労	協同組合三菱長船協力会
原 田 功	海 事 功 労	長崎県金属工業協同組合

(5) 調査研究・指導等

1) 税制の利用調査・報告

国土交通省海事局の依頼を受けて、会員及び会員所属企業へ「造船業・船用工業に関する税制の利用状況調査」を毎年実施している。本年度は8月に実施した。

2) 国土交通省海事局の依頼を受けて、雇用調整助成金の活用状況についての調査を6月、8月、10月及び2022年2月に実施した。

3) 日本財団造船関係資金貸付事業借入手続き指導

日本財団がボートレースの収益金によって行う「2021年度造船関係貸付事業」の各種資金を会員に対して周知した。融資利率は年1.6%以内で利用企業の負担の軽減となっている。また、本年度は無利子融資制度として、事業基盤強化資金の募集も行われた。

当連合会からは、資材の仕入・販売・加工・製造または諸経費等の支払いのための一般運転資金、そして事業基盤強化資金について以下のとおり申請し、決定された。なお、設備の新設・増設・改造を行うための設備資金の申請は無かった。

- ① 設備資金 本年度の申請は無かった。
- ② 一般運転資金（利率は年1.6%以内）

区分	申請企業数	融資決定額(千円)	資金交付日
第1回	8件	498,000	2021.7.7
第2回	8件	690,000	2021.12.7

③ 事業基盤強化資金（無利子融資）

区分	申請企業数	融資決定額(千円)	資金交付日
第1回	2件	370,000	2021.7.7

(6) 日造協実態調査

日造協会員所属企業の経営実態等を把握し、今後の業界対策の資料とするために毎年実施している。本年度は、9月から10月にかけて調査を実施した。

1) 調査内容

- ①売上高の推移 ②人員数の推移 ③設備投資 ④来年度の景気見通し
- ⑤税制措置、助成金等の活用状況 ⑥外国人技能実習生等の活用状況
- ⑦人材活用状況 ⑧日造協事業で活用している事業

2) 対象企業 会員所属企業を対象とした全数調査

(7) 外国人材の活用

- 1) 2014年4月1日から外国人造船就労者の受入が開始されており、最長で2022年度末まで就労可能。
- 2) 新外国人技能実習制度については、2017年11月1日に施行された。新制度では技能実習計画の認定制度、監理団体の許可制度など外国人技能実習機構による手続が煩雑になることもあり、適時、会員・所属企業・監理団体などに情報を提供した。
- 3) 2018年の骨太の方針の中で、現行の専門的・技術的な外国人材の受入れ制度を拡充し、新たな在留資格の創設を行うことが決定された。これを受けて、2018年の臨時国会で入国管理法が改正され、2019年4月から新たな在留資格(特定技能1号、特定技能2号)がスタートした。新しい在留資格の期間は5年間で、造船業には、造船・船用工業分野における溶接、塗装、鉄工、仕上げ、機械加工、電気機器組立ての6職種が特定技能1号として在留資格が認められている。

(8) 人材流動化（会員業況情報）

会員企業のニーズや効果が見込めず、WEBでの会員業況情報のシステムは本年度中で取り止めた。

(9) 会員交流会等

会員事業者による会員交流会等について、コロナ禍の状況を鑑み昨年度と同様に開催しなかった。

(10) 業界の情報の提供

新聞等、国土交通省や厚生労働省等の動向等の情報を会員へメール配信した。

(11) 人材確保事業関係

政策研究委員会で今後の人材確保事業について検討した。また、業況悪化もあり高齢者の活用の検討については見送った。

(12) 日造協設立50周年事業

当連合会が、1971年(昭和46年)8月2日に運輸大臣より社団法人設立許可を得て、発足してから2021年8月2日で設立50周年を迎えた。同記念行事として記念誌「日造協のあゆみ」の発行、会員への記念品配布、正副会長による虎ノ門金刀比羅宮での安全祈願を行った。

4. 技術・品質の向上

(1) 部会活動

1) 日造協塗装部会

船舶の建造にかかわる多くの職種の中で塗装工事は、造船会社の協力企業に対する依存度が他職種に比べ極めて高く、現場作業の大部分を協力企業が担っている。そのため塗装事業者の業界横断組織である日造協塗装部会が設置され、塗装全般にわたり意見交換や調査検討等の活動を行っている。なお、例年、6月に全国合同塗装部会が開催されていたが、新型コロナウイルスの影響により昨年度と同様に開催は見送られた。

2) 日造協企画部会

本部会は、造船協力事業者間、特に若手経営者による交流、研鑽の場として運営され情報の収集、企画部会開催に合わせてアンケート調査の実施、部会誌の発行等を行っている。本年度の

企画部会の開催について、新型コロナウイルスの影響により第1回は書面にて開催、また、第2回はWEBでの開催となった。本年度の活動内容は以下のとおり。

(主な活動内容)

・第1回日造協企画部会(書面) 2021年6月18日(金)

- 議事 1. 部会員の異動報告  
2. 2020年度活動報告・収支決算  
3. 2021年度活動計画・収支予算  
4. 2021年度企画部会部会費について

・第2回日造協企画部会(WEB開催) 2022年2月25日(金)

- 内容 1. 経営者向け講演会  
演題:「ディズニー、NASAも認めた遊ぶ鉄工所」  
講師: HILLTOP(株) 山本 昌作氏  
2. 情報交換会

(2) 購入あっせん事業

1) 墜落制止用器具

労働安全衛生法などの関係政省令等改正により従来の安全帯の使用は、2022年1月2日から全面禁止となったため、墜落制止用器具の導入支援として6月(胴ベルト型)、8月(フルハーネス型)、12月(胴ベルト型・フルハーネス型)に会員限定価格で日造協オリジナル墜落制止用器具の購入あっせんを行った。

2) 熱中症対策用品

熱中症予防対策として、塩分チャージタブレットBIG、アクアソリタ(経口補水液)を会員限定のあっせん価格で購入あっせんを行った。

3) 造船業におけるアンダーシャツ等

5月に火傷の重篤化防止、夏季の暑熱対策として木綿仕様の冷感アンダーシャツ、放熱冷感マスク等を会員限定価格で購入あっせんを行い、また、12月からは火傷の重篤化防止、冬季の防寒対策として木綿仕様の温感アンダーシャツ、温感アンダーパンツ及び遠赤保温マスクの購入あっせんを行った。

4) 新型コロナウイルス感染症予防用品

新型コロナウイルス感染症予防対策として、非接触型温度測定・消毒機、足踏み式ディスペンサー、サーモ付きオートディスペンサー等の購入あっせんを行った。

5) 安全に関する定期刊行物・出版物

厚生労働省及び中央労働災害防止協会が主唱し、安全意識の高揚と安全活動の定着を図る「令和3年度全国安全週間」の実施にあたり、安全に係る知識の取得や安全意識の啓発の一助となるべく、出版物の安全法令ダイジェスト(製造業版)、定期刊行物の安全スタッフ等を会員限定のあっせん価格で購入あっせんを行った。

6) 塗装業における刷毛・ローラー

塗装作業の消耗品である刷毛とローラーについて、日造協会員専用品(オリジナル製品)を、特別価格で購入あっせんを行った。

7) 溶接ヒュームコレクター(すいとろー君)

金属アーク溶接等作業時に発生する溶接ヒュームにばく露されると、溶接ヒュームに含まれるマンガンにより、健康障害を引き起こすおそれがあるため、溶接ヒューム対策として本格的な局所排気装置である溶接ヒュームコレクター(すいとろー君)を会員限定の特別価格で購入あっせんを行った。



(3) 地域研修センターによる技能者育成支援事業

全国6ヶ所（東日本、相生、因島、今治、大分、長崎）で地域造船技能研修を行っており、本年度においては新人研修、専門研修、資格取得研修等を実施した。

(4) 指定技能講習

昭和49年から平成10年までの間日造協が実施していた指定技能講習の修了者は、玉掛、溶接、足場の3種でのべ約3,900名にのぼる。当会では、これらの資格者に対して修了証の再交付、書替交付等の業務を修了者からの申請に基づき引き続き実施した。

(5) 先進国型シップリサイクル

国土交通省海事局による「シップリサイクル条約」の批准に向けた作業に積極的に協力し、平成29年10月31日に開催された「シップリサイクル条約批准に向けた検討会」において国内法制定のための法律案の枠組みが了承された。

その後、平成30年通常国会において「船舶の再資源化解体の適正な実施に関する法律」が成立し、平成31年3月に同条約を批准した。

シップリサイクル条約については、令和4年2月末時点で未発効の状況であり、船舶の再資源化解体の適正な実施に関する法律についても施行されていない。

5. 安全統計等

当連合会は昭和46年の設立時から毎年、会員の安全意識の高揚・啓蒙を図るため安全統計を実施している。

- (1) 死亡災害分類と災害件数の推移(暦年別)
- (2) 災害度数率・強度率の推移(暦年別)
- (3) 2021年(令和3年)会員別安全成績
- (4) 2021年(令和3年)安全成績優良会員表彰

## (1) 死亡災害分類と災害件数の推移（暦年別）

分類 暦年	A. 動力運転災害				B. 作業行動災害					C. 特殊危険災害				D. 雑原因災害			E. 通 勤 災 害	合 計		
	① 動力 伝導 装置 災害	② 動力 揚重 機災 害	③ 動力 運搬 機災 害	④ 一般 動力 機災 害	⑤ 手動 揚重 運搬 機災 害	⑥ 手動 機工 具災 害	⑦ 取扱 運搬 災害	⑧ 飛来 崩壊 災害	⑨ 激突 踏抜 災害	⑩ 墜落 災害	⑪ 電氣 災害	⑫ 毒劇 災害	⑬ 爆発 破裂 災害	⑭ 高熱 災害	⑮ 火事 災害	⑯ 倒壊 災害			⑰ 雑災 害	
47		4	2				2	2	10					1				（	21	
48		2	3					2	8	1								資	16	
49		1	1	1			1	3	6			1	1	7				料	22	
50		2	3					3	7										15	
51		1						3	11		1			1					17	
52		1			1	1		5	5		2								15	
53		1					2	1	9					1				な	14	
54		1	1					1	3	4	1			3					14	
55		1	1					1	9									し	12	
56		2							2								1	）	5	
57		3						4	6	1				8				2	24	
58		1	4						3	1	1		1				1		12	
59		4							8			1					1	1	15	
60		2							5								1	4	12	
61		1	2					1	3			2					2	1	12	
62		2	1					2	4		1								10	
63		2		1					1								1	2	7	
元	1	1						1	3			7						2	15	
2								2	2		1			1			1	1	8	
3		1	1						5	1								1	9	
4			1	1				1	3		1	1							8	
5								3	1		1								5	
6			1	1					3									1	6	
7								1	1								1	3	6	
8		1	2						3										6	
9		1	4					1	3		2							1	12	
10		1	1	1					2		1	1						3	10	
11			2					1											3	
12		1							4	1	2								8	
13		2						2	1		2								7	
14									3									1	4	
15								1	1		2						1		5	
16	1								1			1							3	
17											1						1	1	3	
18								1	1		1								3	
19								1	2			2	1						6	
20			1					1					2						4	
21		1		1					3		1								6	
22		1	1	1						1									4	
23								1	1									2	4	
24		1							3										4	
25							1			1									2	
26														1			2		3	
27								1	1	1						2			5	
28									1										1	
29		1							1										2	
30			1		1		1		3		2							3	11	
元		1	1						1				1		1				5	
2						1							1						2	
3																			0	
計		2	44	34	7	2	2	7	46	3	154	9	22	16	7	23	3	13	29	423

## (2) 災害度数率・強度率の推移（暦年別）

年	延労働時間	延労働 損失日数	死 亡 (業務災害)	永久全・一 部労働不能	休業8日 以上	休業7日 以下	計	度数率	強度率
47	106,386,381	187,699	21	0	510	88	619	5.82	1.76
48	116,246,876	147,397	16	0	505	142	663	5.70	1.27
49	118,224,137	228,782	22	1	499	121	643	5.44	1.94
50	112,131,326	126,620	15	4	466	117	602	5.37	1.13
51	92,826,189	139,857	17	0	385	87	489	5.27	1.51
52	89,319,812	122,977	15	0	352	55	422	4.72	1.38
53	67,238,783	112,783	14	2	223	31	270	4.02	1.68
54	57,300,111	112,165	14	0	179	27	220	3.84	1.96
55	73,854,365	106,874	12	4	270	58	344	4.66	1.45
56	91,496,616	47,634	5	1	259	48	313	3.42	0.52
57	86,243,532	200,792	22	3	237	59	321	3.75	2.33
58	74,504,039	109,799	12	2	202	28	244	3.27	1.47
59	76,282,133	120,743	14	1	209	37	261	3.43	1.58
60	70,423,064	96,013	8	0	164	31	203	2.94	1.36
61	59,966,219	109,356	11	2	125	19	157	2.63	1.82
62	46,214,593	78,539	10	0	74	8	92	1.99	1.70
63	45,248,816	56,305	5	0	108	15	128	2.87	1.24
元	49,364,057	123,661	13	1	110	9	133	2.73	2.51
2	52,389,652	63,288	7	0	94	9	110	2.12	1.21
3	53,954,407	84,180	8	3	93	15	119	2.22	1.56
4	54,430,813	62,601	8	0	79	9	96	1.76	1.15
5	54,327,764	40,101	5	2	75	8	90	1.66	0.74
6	52,292,881	47,513	5	0	57	4	66	1.28	0.91
7	52,561,563	46,858	3	0	66	6	75	1.48	0.89
8	56,806,405	48,092	6	1	79	13	99	1.74	0.85
9	59,496,748	91,555	11	0	77	19	107	1.82	1.54
10	57,138,947	78,242	7	0	73	7	87	1.58	1.37
11	52,293,910	17,141	3	0	50	2	55	1.03	0.33
12	49,459,661	48,694	8	2	63	12	85	1.69	0.98
13	56,526,201	55,858	7	1	81	16	105	1.85	0.98
14	57,190,733	29,464	3	3	70	16	92	1.61	0.52
15	59,692,198	35,103	5	0	109	16	130	2.18	0.59
16	58,218,583	19,080	3	0	84	16	103	1.77	0.33
17	61,074,349	20,120	2	0	118	11	131	2.14	0.33
18	70,553,171	33,011	3	1	113	27	144	2.04	0.47
19	76,763,012	35,494	6	1	168	43	218	2.84	0.68
20	78,679,093	37,870	4	1	155	34	194	2.47	0.48
21	78,974,833	66,864	6	2	166	28	204	2.58	0.84
22	75,975,855	35,590	4	0	121	35	160	2.10	0.46
23	75,039,240	19,367	2	0	103	32	137	1.83	0.26
24	69,622,374	34,192	4	0	89	23	116	1.67	0.49
25	61,124,224	17,971	2	1	69	16	88	1.44	0.29
26	67,215,721	31,601	3	2	94	27	126	1.87	0.47
27	70,237,279	41,906	5	0	88	38	131	1.87	0.60
28	74,328,891	10,568	1	0	75	38	114	1.53	0.14
29	70,794,434	18,738	2	1	77	10	90	1.27	0.27
30	68,322,257	63,423	8	0	90	19	117	1.71	0.93
元	63,871,245	40,925	5	0	84	31	120	1.88	0.64
2	53,329,522	18,252	2	1	64	19	86	1.60	0.34
3	48,831,796	15,637	0	2	58	29	89	1.82	0.32

- ・度数率：労働時間100万時間あたりに発生した死傷者数を示すもので次の算式であらわされる。  
度数率＝死傷者数÷延労働時間数×1,000,000
- ・強度率：労働時間1000時間あたりの作業量に対する労働損失日数を示すもので次の算式であらわされる。  
強度率＝労働損失日数÷延労働時間数×1,000
- ・通勤災害は含まない。

## (3) 2021年(令和3年)会員別安全成績

会員名	項目	死亡	永久全・一部 労働不能	休業8日 以上	休業7日 以下	計	度数率	強度率
協同組合函館どつく室蘭協力会							0.00	0.00
函館どつく安全衛生協力会				2		2	1.94	0.14
ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会							0.00	0.00
三菱横製構内事業協力会							0.00	0.00
住友重機械造船協同組合				2		2	1.48	0.06
ヤマニシ協力会							0.00	0.00
東北ドック鉄工事業協同組合					2	2	28.86	0.04
気仙沼造船団地協同組合				7	9	16	9.76	0.08
新日本海重工業協力事業協同組合							0.00	0.00
トヨシップ事業協同組合							0.00	0.00
ジャパンマリンユナイテッド(津事業所)協力会				1	1	2	1.19	0.01
日立造船大阪協力会							0.00	0.00
川重事業協同組合				1		1	1.93	0.17
MES由良協力会				1		1	6.38	0.44
協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会				1		1	1.42	0.04
川重協力工場協同組合							0.00	0.00
三井E&S玉野協力会				2		2	0.53	0.02
サノヤス水島事業協同組合							0.00	0.00
ヒツ・ジャパンマリンユナイテッド因島事業協同組合				1		1	2.12	0.61
内海造船事業協同組合				1		1	1.49	0.11
協同組合神田造船協力会							0.00	0.00
協同組合JMU呉協力会							0.00	0.00
協同組合三菱広島協力会							0.00	0.00
協同組合新笠戸ドック協力会							0.00	0.00
因島鉄工業団地協同組合				3	2	5	3.97	0.08
協同組合瀬戸内鉄工センター							0.00	0.00
旭洋造船株式会社協力会				2		2	3.74	0.08
川重坂出事業協同組合							0.00	0.00
大西造船関連工業協同組合							0.00	0.00
福岡造船福岡協力会					1	1	1.28	0.01
名村造船伊万里協力会				4		4	2.35	0.12
SSK協力事業協同組合				2	1	3	2.62	0.11
大造協力事業協同組合				2	2	4	1.09	0.01
協同組合三菱長船協力会					1	1	0.34	0.00
福岡造船株式会社社長崎協力会				2		2	2.30	0.02
ジャパンマリンユナイテッド有明協力会				1		1	0.67	0.06
南日本造船協力事業協同組合				1		1	0.87	0.04
下ノ江造船協力事業協同組合				1		1	1.70	0.04
白杵造船事業協同組合							0.00	0.00
佐伯プラント船舶事業協同組合		1		5		6	7.09	9.11
三浦造船協力事業協同組合							0.00	0.00
長崎県金属工業協同組合					1	1	0.76	0.00
協同組合寿協力会				2		2	4.28	0.04
本田重工業協力会							0.00	0.00
造船構外企業協議会				11	6	17	3.31	0.09
船舶解撤企業協議会		1		3	3	7	6.67	5.49
計			2	58	29	89		

※1. 三井E&S玉野協力会は、本表の他に構外において非造船部門で死亡1件あり。

※2. 川重坂出事業協同組合は、本表の他に後遺障害1件あり。障害等級確定次第本表に反映。

※3. 白杵造船事業協同組合は、本表の他に構外において非造船部門で後遺障害1件あり。

## (4) 2021年(令和3年)安全成績優良会員表彰

地区	会 員 名	令和3年 安全成績得点	一般安全 表 彰	特別安全 表 彰
東 日 本	協同組合函館どつく室蘭協力会	100.00	○	○ 5年連続
	函館どつく安全衛生協力会	98.42	○	
	ジャパンマリニュナイテッド横浜協力会	100.00	○	
	三菱横製構内事業協力会	100.00	○	
	住友重機械造船協同組合	99.14	○	○11年連続
	ヤマニシ協力会	100.00	○	○ 5年連続
中 部	新日本海重工業協理事業協同組合	100.00	○	○16年連続
	トヨシップ事業協同組合	100.00	○	○19年連続
	ジャパンマリニュナイテッド(株)津事業所協力会	99.60	○	○12年連続
近 畿	日立造船大阪協力会	100.00	○	○29年連続
	川重事業協同組合	98.25	○	○12年連続
	協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会	99.32	○	
	川重協力工場協同組合	100.00	○	○20年連続
中 国	サノヤス水島事業協同組合	100.00	○	
	内海造船事業協同組合	98.78	○	
	協同組合 J M U 呉協力会	100.00	○	○17年連続
	協同組合三菱広島協力会	100.00	○	○ 9年連続
	協同組合新笠戸ドック協力会	100.00	○	○13年連続
	因島鉄工業団地協同組合	98.23	○	
	協同組合瀬戸内鉄工センター	100.00	○	
四国	旭洋造船株式会社協力会	98.32	○	○ 6年連続
	川重坂出事業協同組合	100.00	○	
九 州	大西造船関連工業協同組合	100.00	○	○14年連続
	福岡造船福岡協力会	99.56	○	
	名村造船伊万里協力会	98.45	○	
	S S K 協力事業協同組合	98.44	○	
	大造協力事業協同組合	99.59	○	
	協同組合三菱長船協力会	99.88	○	○ 9年連続
	福岡造船株式会社長崎協力会	99.15	○	○ 6年連続
	ジャパンマリニュナイテッド有明協力会	99.38	○	
	南日本造船協理事業協同組合	99.44	○	
	下ノ江造船協理事業協同組合	99.19	○	
	三浦造船協理事業協同組合	100.00	○	
	長崎県金属工業協同組合	99.76	○	○ 7年連続
	協同組合寿協力会	98.46	○	
	本田重工業協力会	100.00	○	
構外	造船構外企業協議会	98.40	○	
合 計			37会員	17会員

(注) 安全表彰基準 (成績算定期間は2021年1月から2021年12月までの暦年とする)

① 一般安全表彰 あらゆる場所での死亡災害(通勤災害も含む)がゼロであって、次の算式により算定した得点が98点以上(小数点第三位以下四捨五入)の会員に対して行う。

$$\text{得点} = (100 - \text{度数率}) \times 0.3 + (100 - \text{強度率} \times 10) \times 0.7$$

② 特別安全表彰 5年以上連続して一般安全表彰を受けた会員に対して行う。

附属明細書

日 造 協 役 員 名 簿

2022. 3. 31 現在

役 職	氏 名	会 員 名 及 び 役 職
会 長	河 西 良 二	住友重機械造船協同組合 理事長
副 会 長	山 外 正 人	大造協力事業協同組合 理事長
〃	是 永 和 明	造船構外企業協議会 相談役
〃	小 久 保 和 文	ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会 会長
〃	平 賀 哲 朗	協同組合三菱広島協力会 理事長
専務理事	野 口 雅 史	事務局
常務理事	重 入 義 治	事務局
理 事	高 橋 修 一	協同組合函館どつく室蘭協力会 理事長
〃	安 井 三 郎	函館どつく安全衛生協力会 会長
〃	古 川 誠 和	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会 会長
〃	森 野 宏 和	三菱横製構内事業協力会 会長
〃	佐 々 木 貴 美 雄	ヤマニシ協力会 会長
〃	岸 本 武 司 二	新日本海重工業協力事業協同組合 副理事長
〃	川 北 謙 謙	トヨシップ事業協同組合 監事
〃	小 山 武 夫	日立造船大阪協力会 会長
〃	岡 田 正 昭	川重事業協同組合 理事長
〃	里 村 和 敏	ME S由良協力会 会長
〃	江 見 重 人	協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会 理事長
〃	四 ツ 井 木 彦	川重協力工場協同組合 理事長
〃	鈴 山 康 裕	三井E&S玉野協力会 会長
〃	山 下 晶 晶	サノヤス水島事業協同組合 理事長
〃	引 地 一 生	ヒッツ・ジャパンマリンユナイテッド因島事業協同組合 理事長
〃	宗 政 裕 司	内海造船事業協同組合 理事長
〃	本 村 慎 二 郎	協同組合神田造船協力会 理事長
〃	板 谷 次 勝	協同組合JMU呉協力会 理事長
〃	中 西 毅 毅	協同組合新笠戸ドック協力会 理事長
〃	廣 田 一 敏	因島鉄工業団地協同組合 理事長
〃	宮 地 秀 志	協同組合瀬戸内鉄工センター 理事長
〃	吉 村 清 政	旭洋造船株式会社協力会 会長
〃	神 原 村 嘉 満	川重坂出事業協同組合 理事長
〃	木 樁 原 嘉 智 宏	大西造船関連工業協同組合 理事長
〃	萩 原 義 幸 憲	福岡造船福岡協力会 会長
〃	中 野 達 達 也	名村造船伊万里協力会 会長
〃	田 崎 正 志	SSK協力事業協同組合 理事長
〃	中 島 正 志 喜	協同組合三菱長船協力会 理事長
〃	上 村 尾 豊 喜 司	福岡造船株式会社長崎協力会 会長
〃	増 尾 初 則	ジャパンマリンユナイテッド有明協力会 会長
〃	麻 生 貴 紀	南日本造船協力事業協同組合 理事長
〃	下 松 一 也	下ノ江造船協力事業協同組合 理事長
〃	高 嶋 川 一 夫	白杵造船事業協同組合 理事長
〃	梶 原 田 功	佐伯プラント船舶事業協同組合 理事長
〃	原 黒 剛 一	三浦造船協力事業協同組合 理事長
〃	高 野 竜 一	長崎県金属工業協同組合 理事長
監 事	須 田 新 崇	船舶解撤企業協議会 会長
〃	大 槻 宏 実	公益財団法人全国中小企業振興機関協会 専務理事
〃	鈴 木 善 也	公認会計士
〃	新 川 征 彦	税理士

会 長…1名 副 会 長…4名 専務理事…1名 常務理事…1名 理 事…38名

理事総数…45名 監 事…4名

相談役…山口謙吉、前田和彦

顧 問…江見 満、松井賢二、宮村弘明

## 日造協会 会員名簿

2022. 3. 31現在

会 員 名	役 職	氏 名
-------	-----	-----

### ◎ 東 日 本 支 部 (8会員)

協同組合函館どつく室蘭協力会	理事長	高 橋 修 一
函館どつく安全衛生協力会	会 長	安 井 三 郎
ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会	会 長	古 川 誠
三菱横製構内事業協力会	会 長	森 野 宏 和
住友重機械造船協同組合	理事長	河 西 良 二
ヤマニシ協力会	会 長	佐々木 貴美雄
東北ドック鉄工事業協同組合	理事長	赤 間 英 樹
気仙沼造船団地協同組合	理事長	大 谷 寿 一

### ◎ 中 部 支 部 (3会員)

新日本海重工業協力事業協同組合	理事長	宇 野 修
トヨシップ事業協同組合	理事長	馬 場 光 雄
ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会	会 長	小久保 和 文

### ◎ 近 畿 支 部 (5会員)

日立造船大阪協力会	会 長	小 山 武 夫
川重事業協同組合	理事長	岡 田 正 昭
M E S 由良協力会	会 長	里 村 和 敏
協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会	理事長	江 見 重 人
川重協力工場協同組合	理事長	四ツ井 泰 彦

### ◎ 中 国 支 部 (11会員)

三井 E & S 玉野協力会	会 長	鈴 木 康 裕
サノヤス水島事業協同組合	理事長	山 下 晶
ヒツジ・ジャパンマリンユナイテッド因島事業協同組合	理事長	引 地 一 生
内海造船事業協同組合	理事長	宗 政 裕 司
協同組合神田造船協力会	理事長	本 村 慎 二 郎
協同組合 J M U 呉協力会	理事長	板 谷 勝 次
協同組合三菱広島協力会	理事長	平 賀 哲 朗
協同組合新笠戸ドック協力会	理事長	中 西 毅

会 員 名	役 職	氏 名
因島鉄工業団地協同組合	理事長	廣田一敏
協同組合瀬戸内鉄工センター	理事長	宮地秀志
旭洋造船株式会社協力会	会 長	吉村清政

◎ 四 国 支 部 (2会員)

川重坂出事業協同組合	理事長	神原 満
大西造船関連工業協同組合	理事長	木村 嘉宏

◎ 九 州 支 部 (15会員)

福岡造船福岡協力会	会 長	椿原智幸
名村造船伊万里協力会	会 長	萩原義憲
SSK協力事業協同組合	理事長	中野達也
大造協力事業協同組合	理事長	山外正人
協同組合三菱長船協力会	理事長	田崎正志
福岡造船株式会社長崎協力会	会 長	中島豊喜
ジャパンマリンユナイテッド有明協力会	会 長	上村 司
南日本造船協力事業協同組合	理事長	増尾初則
下ノ江造船協力事業協同組合	理事長	麻生貴紀
臼杵造船事業協同組合	理事長	下松一也
佐伯プラント船舶事業協同組合	理事長	高島裕一
三浦造船協力事業協同組合	理事長	梶川茂夫
長崎県金属工業協同組合	理事長	原田 功
協同組合寿協力会	理事長	黒佐 剛
本田重工工業協力会	会 長	高野竜一

◎ 造船構外企業対策本部 (2会員)

造船構外企業協議会	会 長	橋本 勉
船舶解撤企業協議会	会 長	須田新崇



## 賛 助 会 員 名 簿

(順不同・敬称略)

賛 助 会 員 名	代 表 者 名
三 菱 造 船 株 式 会 社	北 村 徹
ジヤパンマリンユナイテッド株式会社	千 葉 光 太 郎
三 井 E & S 造 船 株 式 会 社	船 津 勇
川 崎 重 工 業 株 式 会 社	橋 本 康 彦
住友重機械マリンエンジニアリング株式会社	島 本 英 史
株 式 会 社 新 来 島 豊 橋 造 船	高 山 則 雅
佐 世 保 重 工 業 株 式 会 社	名 村 建 介
函 館 ど つ く 株 式 会 社	関 川 義 紀
株 式 会 社 名 村 造 船 所	名 村 建 介
株 式 会 社 大 島 造 船 所	平 賀 英 一
株 式 会 社 新 来 島 サ ノ ヤ ス 造 船	森 本 洋 二
内 海 造 船 株 式 会 社	原 耕 作
株 式 会 社 臼 杵 造 船 所	山 本 勇 一
福 岡 造 船 株 式 会 社	田 中 嘉 一
株 式 会 社 神 田 造 船 所	神 田 慎 一 郎
株 式 会 社 南 日 本 造 船	檜 垣 清 志
株 式 会 社 三 浦 造 船 所	三 浦 唯 秀
下 ノ 江 造 船 株 式 会 社	田 中 章 夫
佐 伯 重 工 業 株 式 会 社	竹 中 浩
旭 洋 造 船 株 式 会 社	越 智 勝 彦
本 田 重 工 業 株 式 会 社	増 田 尚 昭
寿 工 業 株 式 会 社	大 坪 弘 人
株 式 会 社 ヤ マ ニ シ	鈴 木 正 己
東 北 ド ッ ク 鉄 工 株 式 会 社	宮 崎 剛
新 潟 造 船 株 式 会 社	岩 松 安 則
京 浜 ド ッ ク 株 式 会 社	小 澤 敏 也
一 般 社 団 法 人 日 本 造 船 工 業 会	宮 永 俊 一
公 益 財 団 法 人 日 本 海 事 広 報 協 会	武 藤 光 一
一 般 社 団 法 人 日 本 船 舶 電 装 協 会	山 田 信 一 郎
一 般 社 団 法 人 日 本 船 用 工 業 会	木 下 茂 樹
一 般 社 団 法 人 日 本 船 舶 品 質 管 理 協 会	片 山 正 典
一 般 財 団 法 人 日 本 船 舶 技 術 研 究 協 会	田 中 誠 一

賛助会員数：26社、6団体

2022. 3. 31現在

政策研究委員会委員名簿

(順不同・敬称略) (9名)

	氏名	所属支部	所属会員・役職	企業名・役職
委員長	平賀哲朗	中国	協同組合三菱広島協力会 理事長	平賀金属工業㈱ 代表取締役
委員	川田利博	東日本	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会 会計監査	千代田テクノシップ㈱ 代表取締役社長
〃	佐野雅利	中部	ジャパンマリンユナイテッド㈱津事業所協力会 副会長	㈱サノセキエンジニアリング 代表取締役社長
〃	大塚一登	近畿	協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会 副理事長	㈱オーツカテック 代表取締役社長
〃	廣田一敏	中国	因島鉄工業団地協同組合 理事長	㈱因島加工センター 代表取締役
〃	神原満	四国	川重坂出事業協同組合 理事長	神原工業㈱ 代表取締役社長
〃	三浦学	九州	協同組合三菱長船協力会 副理事長	㈱三浦工業所 代表取締役会長
〃	高島裕一	九州	佐伯プラント船舶事業協同組合 理事長	壽工業㈱ 代表取締役社長
〃	橋本勉	構外	造船構外企業協議会 会長	㈱日本メタルホース 代表取締役

技術安全委員会委員名簿

(順不同・敬称略) (11名)

	氏名	所属(企業名・役職)
委員長	山外正人	山外工業㈱ 代表取締役社長
委員	眞下勝利	㈱眞下工業所 代表取締役社長
〃	瀬戸将之	㈱京浜マリンエンジニアリング 代表取締役
〃	松本誠一	松本工業㈱ 代表取締役社長
〃	工藤幸一	㈱津マリン製作所 代表取締役社長
〃	松尾秀康	長田工業㈱ 代表取締役社長
〃	下松一也	(有)テクノス 代表取締役
〃	伊藤和幸	ジャパンマリンユナイテッド㈱
〃	堀川秀樹	住友重機械マリンエンジニアリング㈱ 企画管理部 安全グループ グループリーダー
〃	笹本裕三	(一社)日本造船工業会 総務部 部長
〃	白樫薫	(一社)日本中小型造船工業会 総務部 調査役

### 共済制度運営委員会委員名簿

(順不同・敬称略) (16名)

	氏名	所属会員名・役職	企業名・役職
委員長	小久保 和 文	ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会 会長	(株)小久保鉄工所 代表取締役
委員	高 橋 修 一	協同組合函館どつく室蘭協力会 理事長	(有)三恵工業 代表取締役社長
〃	古 川 誠	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会 会長	(株)セイワ 代表取締役社長
〃	森 野 宏 和	三菱横製構内事業協力会 会長	(株)森野帆布船具工業所 代表取締役
〃	勝 見 慎 一	住友重機械造船協同組合 副理事長	錦工業(株) 代表取締役
〃	岸 本 武 司	新日本海重工業協力事業協同組合 副理事長	岸本電設(株) 代表取締役
〃	岡 田 正 昭	川重事業協同組合 理事長	大永(株) 代表取締役社長
〃	江 見 重 人	協同組合アイ・エイチ・アイ相生協力会 理事長	(株)江見工業所 代表取締役社長
〃	鈴 木 康 裕	三井E&S玉野協力会 会長	(株)玉組 代表取締役副社長
〃	山 下 晶	サノヤス水島事業協同組合 理事長	川幸工業(株) 代表取締役社長
〃	神 原 満	川重坂出事業協同組合 理事長	神原工業(株) 代表取締役社長
〃	木 村 嘉 宏	大西造船関連工業協同組合 理事長	大西シャーリング(株) 代表取締役社長
〃	椿 原 智 幸	福岡造船福岡協力会 会長	椿原工業(株) 代表取締役
〃	田 崎 正 志	協同組合三菱長船協力会 理事長	(株)吉本ハイテック 代表取締役
〃	高 畠 裕 一	佐伯プラント船舶事業協同組合 理事長	壽工業(株) 代表取締役
〃	鈴 木 善 也		公認会計士

### 日造協塗装部会会員名簿

(順不同・敬称略) (6名)

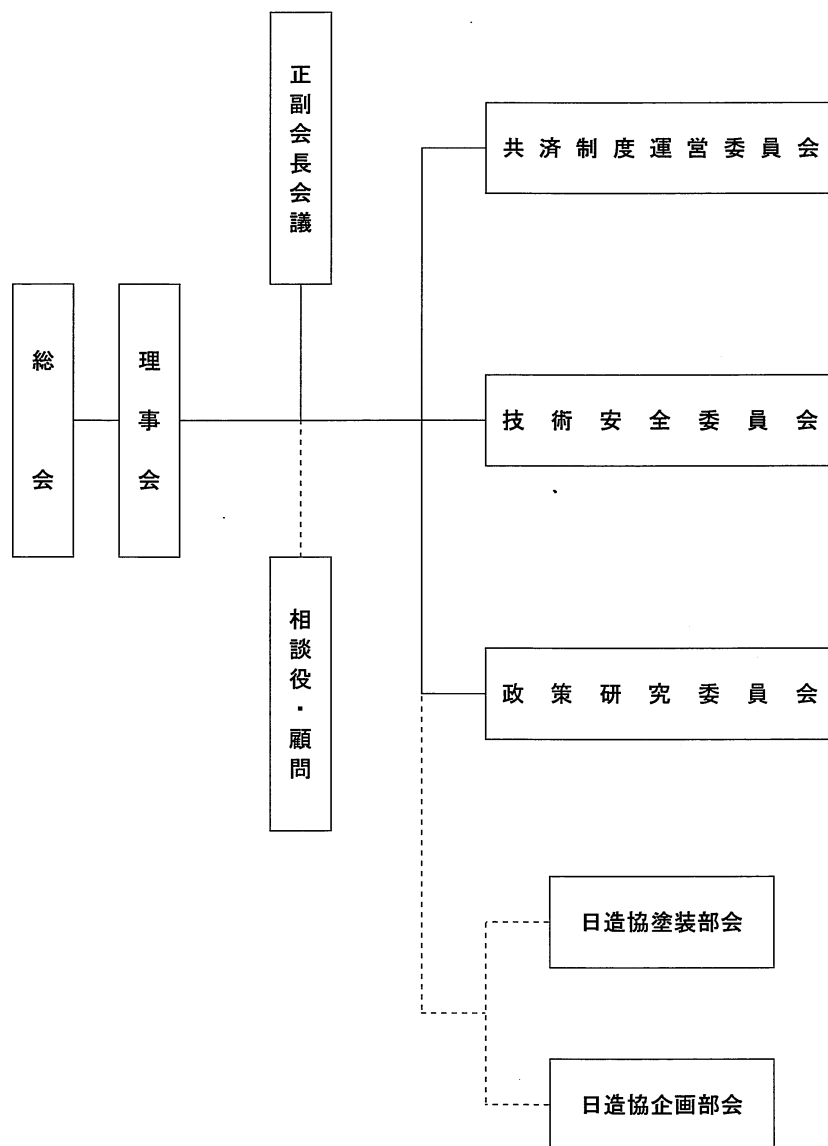
	氏名	役 職	企業名・役職
全国部会長	中 橋 政 彦	塗装部会長、四国支部塗装部会長	中橋産業(株) 代表取締役社長
支部部会長	指 原 寿 光	東日本支部塗装部会長	(株)双葉塗装 代表取締役
〃	山 本 智 久	中部支部塗装部会長	東石工業(株) 代表取締役
〃	大 井 淳	近畿支部塗装部会長	大井工業(株) 代表取締役社長
〃	岩 重 文 雄	中国支部塗装部会長	岩重塗装工業(株) 取締役会長
〃	山 外 正 人	九州支部塗装部会長	山外工業(株) 代表取締役社長

日造協企画部会会員名簿

(順不同・敬称略)(35名)

役職	氏名	所属会員名	企業名
部会長	齋藤 憲 司	造船構外企業協議会	(株)寺岡
副部会長	脇田 啓 吾	協同組合 J MU 呉協力会	(株)ウイング
〃	本石 隆 次	白杵造船事業協同組合	(株)M. P. C
幹事	人見 慶太郎	三菱横製構内事業協力会	(株)大幸
〃	河西 峻 介	三菱横製構内事業協力会	三上船舶工業(株)
〃	猪狩 孝 久	ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会	(株)創和
〃	岩重 真 司	内海造船事業協同組合	岩重塗装工業(株)
〃	椿原 智 幸	福岡造船福岡協力会	椿原工業(株)
〃	北川 栄 太	協同組合 三菱長船協力会	崎永海運(株)
部会員	清野 真 一	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会	大一船舶(株)
〃	竹原 洋 行	ジャパンマリンユナイテッド横浜協力会	大正産業(株)
〃	勝見 慎 一	住友重機械造船協同組合	錦工業(株)
〃	山本 智 久	ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所協力会	東石工業(株)
〃	鈴木 康 裕	三井 E & S 玉野協力会	(株)玉組
〃	前田 和 郎	三井 E & S 玉野協力会	大同塗装(株)
〃	板谷 勝 次	協同組合 J MU 呉協力会	(株)ただに工業
〃	河合 修 孝	協同組合 J MU 呉協力会	山陽興産(株)
〃	中村 和 稔	協同組合 J MU 呉協力会	(株)アイクリエト
〃	田崎 耕 佑	協同組合 三菱広島協力会	(株)吉本コーテック
〃	岡本 哲 博	因島鉄工業団地協同組合	(株)岡本製作所
〃	柏原 秀 幸	因島鉄工業団地協同組合	新松浦産業(株)
〃	星野 裕 介	川重坂出事業協同組合	(株)ホシノ
〃	岡田 太 郎	福岡造船福岡協力会	(有)伸和塗装工業
〃	木下 康 彦	福岡造船株式会社長崎協力会	(株)菱陽商事
〃	首藤 謙 吾	福岡造船株式会社長崎協力会	TOKENプラント(株)
〃	西出 秀 明	ジャパンマリンユナイテッド有明協力会	花谷建設(株)
〃	高島 裕 一	佐伯プラント船舶事業協同組合	壽工業(株)
〃	吉川 勝 也	造船構外企業協議会	葵工業(株)
〃	小鯖 利 弘	造船構外企業協議会	(株)小鯖船舶工業
〃	谷垣 友 彰	造船構外企業協議会	谷垣工業(株)
〃	長畑 太 茂	造船構外企業協議会	(株)永鐵工所
〃	西 寛	造船構外企業協議会	(株)平和熔工所
〃	畑中 秀 之	造船構外企業協議会	(株)第一技研
〃	山川 達 矢	造船構外企業協議会	コスモ精機(株)
〃	山本 一 郎	造船構外企業協議会	イワキテック(株)

# 日造協機構



# 事務局組織図

